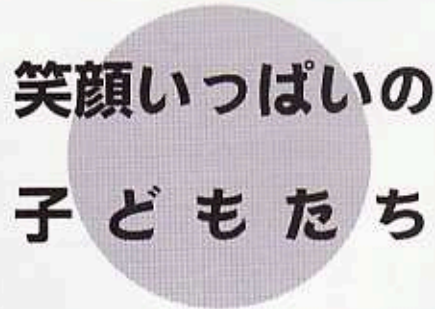


# 少連協ニュース


発行所 / 足立区少年団体連合協議会

〒120-8510 東京都足立区中央本町1-17-1 足立区役所  
青少年課 青少年事業係  
TEL 03-3880-5275 <http://www.a-shorenkyo.jp>

発行人 野辺 陽子  
編集 調査広報部  
大林 市川 小野田 高澤  
手塚 田中 鈴木 川下  
堀内 山岸 山川



27時間かけてチリのアタカマより二人の女子高生がやってきた。ジャスミンとクラウディアの二人は大きなトランクと共に日本の初めての宿泊地である我が家に到着した。チリ人はスペイン語を話し、英語も少し話せるということだった。玄関から家にある時に「プットオフ ユアシューズ」と言ってみだが英語もよくわからない様子だったので、ジェスチャーで伝えるとぬいだ靴を手にとってあがるのだった。



足立区  
少年団体連合協議会会長 野辺 陽子

## アタカマ 女子高生 受け入れ奮闘記

スペイン語は学生時代に少し学んだが、数十年も経ってしまいほとんど役にもたたなかった。順応性のある二人は、箸も上手に使えたし、納豆や梅干も食べる事ができた。しかし、国民性なのか、とてものおんびりとしていて時間にあまりとんちやぐしくないようだった。身ぶり手ぶり、英語、西語入り乱れた会話で、4日間のホームステイも何とかこなし、潤徳高校に送り終えた時はホッとして力が抜けるようだった。言葉は通じにくくても、夫や娘がいてくれたお陰で、最後の頃にはみんなで大笑いすることが出来る程うちとけ合った。意思を伝える言葉というもののもつ意味も、今回程感じたことはなかった。彼女達のあと二週間の滞在がすばらしいものであることを祈るばかりだ。



# 平成二十六年少年団体連合協議会の総会を開催

五月三十一日(土)午後四時、区役所十二階会議室に於いて、平成二十六年、足立区少年団体連合協議会総会が開催されました。

司会 山本輝男副会長  
開会の辞 大林英夫副会長  
会長挨拶 野辺陽子会長

議長 加藤俊次副会長  
書記 小野田みよ子書記

平成二十五年、二十六年併せて十一項目の議案が審議され、滞りなく承認されました。今年度は役員改選期ではありませんが、受託事業の会計業務が増えるとい

うことで二名が増員されましたので改めて今年度役員を紹介いたします。

会長 野辺陽子  
副会長 山本輝男

加藤俊次  
鈴木春男  
大林英夫

日高佐和子  
鈴木健治  
四宮淳司

書記 下島泰則(新)  
小野田みよ子  
元井一壽

事務部長 清水康弘  
育成部長 辻村宣明  
調査広報部長 市川元一  
会計監査 岩澤明美  
山崎金寿

なお、新旧常任理事は次のとおりです。

【新任常任理事】

第六地少協 大関英広  
第八地少協 菊地賢司  
第十一地少協 小池孝喜  
青井地少協 吉武史洋  
淵江地少協 中村博明



▲退任常任理事の皆さんへ感謝状贈呈

【退任常任理事】

第六地少協 高橋キク子  
第八地少協 鹿浜泰生  
青井地少協 清水康行

新任常任理事の皆様には、少連協の活性化と発展にご尽力を賜りますようお願いいたします。また、退任常任理事の皆様には感謝状が贈呈されました。今後とも、地域はもとより、少連協に対しまして変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

【少連協表彰状贈呈】

舎人地少協 大山千恵子



▲少連協表彰状贈呈

中川地少協 下島利代  
上沼田地少協 日高佐和子  
篠田一美

細木雅子  
新島英治  
江南地少協 加藤真砂美  
淵江地少協 伊藤國男  
松村公子

【がんばる地少協】

第五地少協  
蒲原地少協  
保塚地少協  
スポーツ少年団

認可された四団体には意義のある助成金となりますようお願いいたします。午後五時十分総会終了。午後六時より懇親会





▲小関朝之中学校長会長の中締め



▲丸山昌哉小学校長会長の乾杯



▲区長代理 青木光夫教育長祝辞



▲手を繋いで「青い山脈」の大合唱▲



場所 綾瀬 江戸一「万来館」  
司会 清水康弘事業研修部長  
開会の辞 四宮淳司会計  
区歌「わがまち足立」の斉唱



▲手締めにて閉会

参加者一〇余名の歌声と笑顔  
が満ち溢れます。  
来賓祝辞 区長代理 青木光夫  
教育長  
区議会議長代理 馬場信男前議  
長、十三名の来賓紹介  
小学校長会会長、丸山昌哉栗原  
小学校長の乾杯の音頭で和やかさ  
が増しました。  
第二部の司会 鈴木健治会計  
どのテーブルも、笑顔、笑顔で  
懇親も深まりました。  
中締め、中学校長会会長、小関  
朝之千寿青葉中学校長、最後は恒  
例の輪になって、手を繋いで的全  
員合唱「青い山脈」で盛り上がっ  
たところで閉会の辞、山本輝男副

後任には、多くの役員の方々の賛同を得て、私が就任することになりました。第十一地少協には、優秀な役員の方々が多数在籍しております。今後は、皆様のお知恵を活か

今年には役員改選の年に当たり、五期十年全力投球され、地少協の運営に務められた、大林英夫氏が退任されました。大林英夫前会長には、本当にお疲れ様でしたと申し上げます。

多数のご来賓の出席のもと、総会が開催されました。

☆新任挨拶

第十一地少協会長 小池 孝喜

今年度、第八地少協の鹿浜会長より引き継ぎ、会長に就任いたしました。何卒、今後ともよろしくお申し込み申し上げます。

☆新任挨拶

第八地少協会長 菊地 賢司

会長がしっかりと落ち着きをもったことばで閉めていただきました。少連協の活性化と発展を確認し閉会となりました。



しながら、地少協の運営にあたりたいと思います。

微力ではございますが、全力で努力して参ります所存です。皆様のご指導・ご鞭撻をお願いして就任の挨拶といたします。

☆退任挨拶

第六地少協 高橋キク子

常任理事退任に際して、今までのが走馬灯のように思い出されます。

田中前会長（現顧問）時代に、第六地少協の会長代理で江東五区や少連協の行事等に同行させていただきました。

少連協の周年事業では、十年・二十年・三十年・四十年の事業に参加いたしました。

平成元年にレク・インストラクターの資格を取得し、ジュニアリーダー講師として、児童を指導したことは貴重な経験になりました。

昭和四十二年から平成二十五年までの四十六年間は、地域役員、少連協の役員の方々及び事務局総務部員の皆様より、言葉に言い尽くせない程のお力添えをいただき、今日まで続けられたことを心より感謝申し上げます。

第二十四回子ども会育成者セミナー

江南地少協 油井 亜紀

六月二十九日（日）第二十四回子ども会育成者セミナーが「安全・安心な子ども会活動を求めて」のテーマで柴田俊明先生（公益財団法人伊藤忠記念財団）を講師に迎えて、足立区庁舎ホールにて開催されました。どのようしたら事故を起こさないようにできるのかを考えながら話を伺いました。

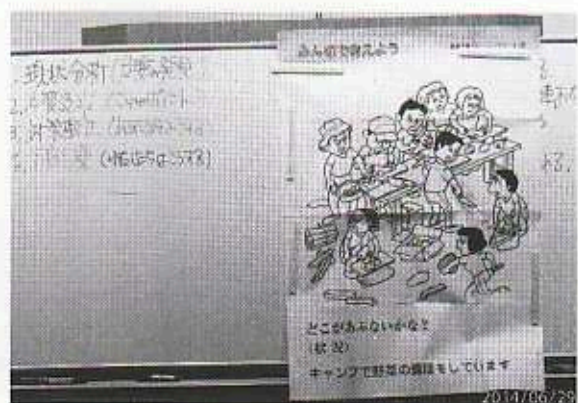
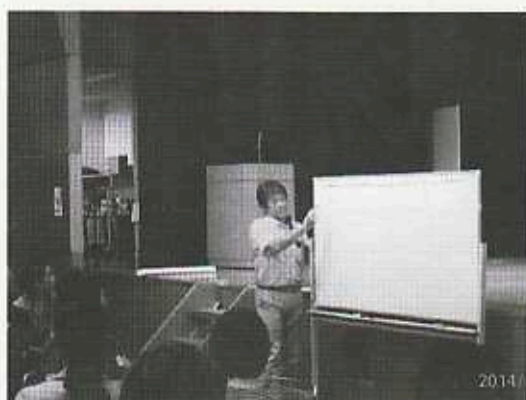
まずは、本題に入る前に参加者とフラットな場に立たせ、指導者の立ち位置についての話を伺うことができました。坂道での指導の場合、晴天の屋外の場合と改めて問われると悩んでしまいましたが、

長年この活動をされている他の参加者の方々には、当たり前のことのように感じているように見受けられました。坂道では坂の下り側に立ち、坂の上の参加者の方を向いて話をする。屋外では太陽の方に向かって立ち、参加者は太陽を背にして話を聞くといったことが確認できました。

次こそ本題に入ると思っていた私たちに講師の先生は、ホワイトボードの見える範囲を確認され始めました。講習を進めるためにフラットな立ち位置にしたことで、参加者全員が確実に見えるホワイトボードの範囲を確認されている姿を見て、指導者としての立ち位置の大切さを痛感しました。

講習の始まりは「安全」の対義語を問われ、危険予知トレーニング（以下「KYT」という）を学びに来ているのだから、「危険」とすぐ思いました。しかし、危険をなくすことは無理だが、危険を回避し「事故」を防ぐことはできる。危険を「事故」に結び付けな

いことが大事であるということでした。ことわざの「備えあれば憂い無し」の解釈もここでは、「心配するから備えるのだから、「憂うから備える」があっているのではないかと思います。大変納得をしてみました。そして、備えていても事故（ヒューマンエラー事故）はおきる。慣れてくることで「だれる」という人間の特性（錯覚、不注意、省略、近道）を原因とする事故・災害を指している。ヒューマンエラーによる事故を防止し、安全を先取りする目的でKYTが

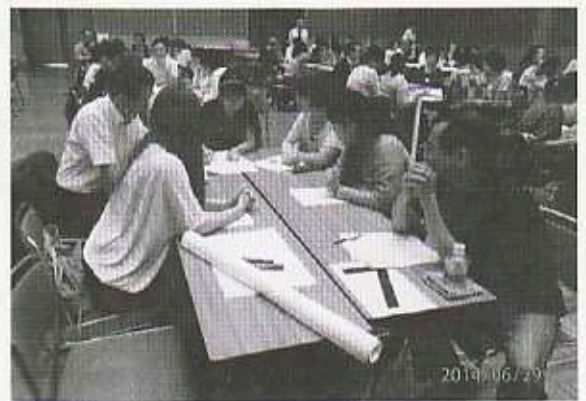






生まれた。エラーをする人間同士だからこそ、「一人一人」が危険事故に対して感受性を鋭くし、作業中、活動中の要所所で集中力を高めるKYTの体験学習をしました。

危険予知は危険を知ること、大事故（災害）もヒヤリハット（予兆）も根っこは同じである不安全感からおきているということでした。KYT四ステップ体験学習の「第一ステップ現状分析」危険因子が潜むイラストから危険を発見、「第二ステップ本質追及」発見した危険因子の中から重大危険の絞込み、「第三ステップ対策樹立」具体的で行動可能な対策を考



える、最後の「第四ステップ行動目標」事故防止のためのスローガンを立て、指差し唱和する。

このような手順をふみながら危険予知活動（KYK）ができるようになるためにKYTをしていきました。少人数でチームを編成し、グループワークのように進めていったことで交流も図ることが出来ました。

今回の研修を受けて、作業現場から生まれたKYTは、国が定めた労働災害防止計画にも取り上げられているということで、私たちが活動する場だけではなく、公私ともに役立つことだと思えました。

## ジュニアリーダー研修 会と学校に泊まるろう会

第七地少協会長 川下 勝利

関原小学校で、毎年行っているジュニアリーダー研修会ですが、参加児童の減少が続いていたため、昨年初めて実施した「学校に泊まるろう会」と同日（六月二十一日（土）・二十二日（日））に開催を企画し、募集したところジュニアリーダー研修に三十六名、泊まるろう会には四十六名の児童が参加してくれました。

第一回日のジュニアリーダー研修が終了すると早速、泊まるろう会の夕食準備のための竈作りです。メニューは、定番のカレーですが、家庭から持参した米と野菜を材料に飯盒と大鍋で調理が始まりました。飯盒で炊いたご飯と大鍋で作ったカレーはとても美味しく、デザートはフルーツポンチまで、みんな完食しました。その後、学校探検や花火大会などを楽しみ体育館で就寝です。翌朝は、六時三十分からの生放送でラジオ体操を行い、ホットドックの朝食をいただきます。あつという間に終了した泊まるろう会でした。

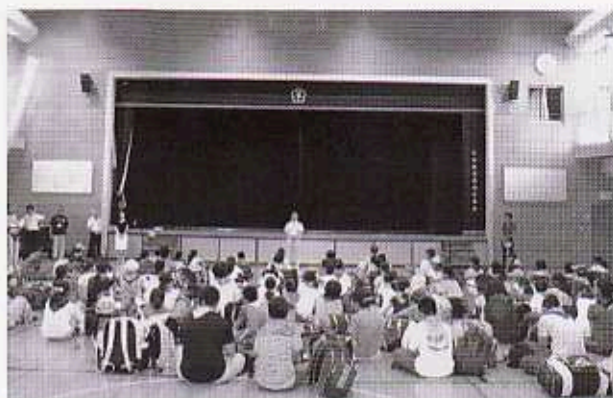


その後、午前には第二回日のジュニアリーダー研修会、午後には第三回日のジュニアリーダー研修会を行ない、少し疲れた大人たちを横目に、子ども達はとても元気に、二日間・二十八時間に及ぶ学校での体験を楽しみました。



# 成長とときどき

少連協育成部  
鹿浜 安弘



今年のジュニアリーダーキャンプはキャンプ地を静岡県国立中央青少年交流の家で、日程も二泊三日に変更し、気持ちも新たにこれから企画したキャンプでした。

さらに、プログラム作りは青年リーダーが準備し、ジュニアリーダー・スーパード研修生全員を班付リーダーに、少連協スタッフは備品調達、ナイトハイクのサポート、二日目の昼食調理等の裏方に従事するという斬新な編成で挑戦してみました。

三日間のプログラムの中で一番



時間を割いたのはテント設営と夕食作り。食事を美味しく作ることで、時間内で全ての工程を終らせることの難しさを、肌で感じる事が出来たのではないでしょうか。

初めて体験することばかりで、必死になって挑んでいる若い姿を沢山見ていると、何十年前にジュニアリーダー研修生として、キャンプに参加していた自分の姿を見



た感じがしました。

何より三日間、誰一人病院に世話にならず、全員、元気に足立区まで帰ってこられたことが今回の大収穫でした。

ジュニアリーダーが成長するキャンプを提供すると同時に、少連協・青年リーダーが一つになり、一歩ずつ成長して行くキャンプにしたいです。

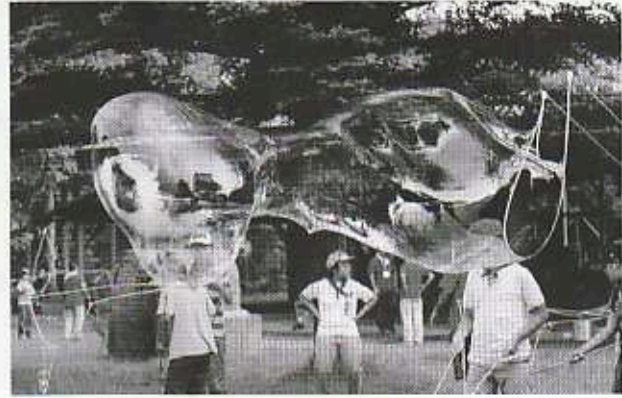
## 宿泊キャンプ

少連協会計  
四宮 淳司

昨年に続いて二回目の参加になります。場所が赤城から御殿場に変更わり東京からのアクセス、施設もコンパクトにまとまっていて買

い物、病院への利便性も良く、何より涼しくて虫も少ない。二泊三日と期間が短かったこともあり、具合の悪くなる子もほとんどいま





せんでした。去年と比較するとすばらしいキャンプ場でした。



前回までの青少年課に全ておまかせから、少連協と青年リーダーが主体となってプログラムから予算作成までを行うことになり、早い時期からの下見、打ち合わせが必要になりました。場所も変わりました。日程も実質、中一日になりましたから、青年リーダーには大変な苦労があったと思います。少連協スタッフには的確な判断、バックアップなど関心させられました。今回は中学生が班付リーダーになりましたが、ステツプアップが必要と感じました。今年の反省を生かして来年はもっと素晴らしいキャンプにしたいと思います。

### キャンププログラム

8月6日(水)

Time	プログラム
7:00	鹿積小学校集合(スタッフ)※参加者は7:40
8:30	参加者受付後⇒バス乗車・出発 途中のSAで休憩(1回もしくは2回)
12:00	国立中央青少年交流の家到着 入所式(交流の家スタッフによる)
12:30	昼食 弁当A おむすび弁当※鹿積付広場、班ごとに
13:00	テント設置(キャンプ場上段・野外活動棟)
15:00	夕食の食材取り
15:30	かまどについての説明(現地スタッフ)
16:00	夕食づくり 炊飯C カレーライス 班ごとに、人数分の材料を受け取りに行く。
18:00	ナイトハイク(施設内) 雨天時: 鹿積広場
20:30	シャワー時間 20:30~22:00
21:30	係会議・班会議 就寝

8月7日(木)

Time	プログラム
5:30	スタッフ起床
6:00	参加者起床
6:30	朝のつどい(簡単なゲームや体験)
7:20	朝食 弁当D パン弁当
9:00	ジュニアリーダースーパー研修会企画 (キャンプ場ひろば・ディスクゴルフ場)
12:00	昼食(奥込みうどん) 少連協スタッフが全員分つくる。
13:00	食材ラリー(施設内) 雨天未行
16:00	ネイチャーグラフィック 夕食の食材取り
17:00	夕食づくり 炊飯F バーベキュー
19:00	キャンプファイヤー 第2燃火場 雨天時: 鹿積広場
20:30	シャワー時間 20:30~22:00
21:30	係会議・班会議 就寝

8月8日(金)

Time	プログラム
5:30	スタッフ起床
6:00	起床
7:00	朝のつどい 荷物を持って集合
8:00	朝食(レストラン食) 朝食時間8:00~8:45
8:45	集合点検
9:00	フィールドゲーム (キャンプ場ひろば・ディスクゴルフ場) 雨天時: 野外活動棟
11:30	昼食(レストラン食) 昼食時間11:30~12:30
12:30	退所式
13:00	国立中央青少年交流の家出発 途中のSAで休憩(1回もしくは2回)
16:30	鹿積小学校到着 解散



## 恒例の那須甲子野外活動

第十四地少協副会長 近藤 弥生

夏休みに入ったばかりの七月十九日(土)～二十一日(月)の三日連休に地少協恒例の那須甲子野外活動が行われました。

大型バス二台で国立那須甲子青少年自然の家に到着するころには雨が降り始め、野外炊飯は屋根付きのピロティで行いました。各班ごとに役割を分担し、お米を研いだり野菜を切ったり、竈かまどの薪に火をつけて煙い目をこすりながら火加減を調節したりと、楽しくカレーを作りました。ご飯を焦がしてしまったところもありましたがそれもいい経験です。

夜は待ちに待った肝試し。雨も上がり数年ぶりに外で行うことができました。スタート地点で怖い話を聞くころには、あたり一面に霧がたちこめ、幻想的な雰囲気になりました。スタッフもお化けとして各所にスタンバイし、子どもたちの通過を待ちました。数名ずつのグループで回りますが、あまりの怖さに号泣する子が続出しました。宿舎に戻って家族に手紙

を書いて一日目が終了しました。

二日目も天気恵まれ、追跡ハイクを外で行うことが出来ました。各班ごとに指定されたチェックポイントで問題に答えて行きます。

ゴールした後は広い野原でベクトルロケットや水鉄砲で、ずぶ濡れになって遊びました。午後からは思い思いのデザインでフォトフレームを作りました。夜はお待ちかねのキャンプファイヤーです。火の神様から各班長のトーチに火



をつけてもらい、リーダーの先導

で歌や踊りで楽しく過ごしました。最後は花火でフィナーレ。帰り道では、蛍や綺麗な星空もみられました。

三日目は、レク係が考えたレクリエーションで楽しく遊び、国立那須甲子青少年自然の家をあとにし、帰路につきました。この三日間で子どもたちは少し成長したと思います。

## テニール大会

第三地少協副会長 佐通 淳

平成二十六年八月三日(日)、第二十五回球技大会(テニール)を千寿双葉小学校校庭で、開催しました。

今年は、校庭が人工芝になり、ラインを引くことが出来なくなり校庭に引いてあるラインとテープを使用してダイヤモンドを作りました。

大会自体は、問題なく行えましたが、人工芝の影響で校庭内は、水と麦茶しか持ち込めず、暑さ対策のために、コンクリートの場所をかき氷を振る舞いました。かき氷を担当した役員の皆様のお陰で、子どもたちも元気に楽しくプレー



をしていました。今年の経験を活かして、来年はもっと良い大会にしていきたいと思えます。

## 編集後記

ジュニアリーダー研修会の実施にあたり、新しい試みを実施した記事を掲載いたしました。今後、研修会参加人数を増やす、良い方法がありましたら、調広部までご連絡ください。(編集者)